

物理工学域 専攻セミナーのお知らせ

KEK 素粒子原子核研究所の田中真伸先生に最近の高エネルギー物理学実験のための検出器開発について、ご講演頂くことになりました。小林先生と益川先生の2008年ノーベル物理学賞受賞にも大きく貢献したKEK-Bについて、また、粒子検出器としての半導体デバイスへのニーズ、最近の話題、展開についても触れられる予定です。ぜひご参加ください。



Belle-II KEK HPより

講演者：田中真伸 教授

所属：高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所

講演題目：半導体と加速器科学

日時・場所：12月14日10時-11時・3F800

内容：加速器科学にとって半導体関連技術はなくてはならないものである。量子ビーム（荷電粒子、X線、中性子、ミュオン）の生成、制御、そして測定器（センサーと信号処理エレクトロニクス）の開発は主にシリコンをベースとする半導体技術の進展とともに、産業用途とは異なる環境で発展してきた。しかしながら現在これら研究開発の一部は、加速器の開発トレンドに沿う形で、従来のシリコンから変更を迫られようとしている。この研究開発の変遷と今後に関して、半導体関連の話題を中心に話す。

世話人：上殿明良

メールアドレス：uedono.akira.gb@u.tsukuba.ac.jp

共催：エネルギー物質科学研究センター（TREMS）